

玄海原発のトラブル報告 立地県並みのスピードに

平成19年9月12日の玄海原発1号機の放射線監視盤の故障では、九電は、午前4時3分に覚知。立地県の唐津市には34分後に連絡。福岡県には、10時間後に連絡。
この事実から私、公明党県議団は、6月の予算特別委員会・常任委員会で九電から立地県並の情報提供を得られるよう県を迫及。

10月の防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会で、私は、九電と協議開始するまで3カ月もかかっていることから「県のスピード感の無さ」と「県民の命を断固守る」という姿勢の無さを正しました。



福岡市が災害弱者の 名簿を地元と共有へ!

6月議会で情報の共有に同意しない要援護者の命はどう守ると知事に質問。



知事は、個人情報保護条例は、明らかに本人の利益になる場合や個人情報保護審査会が情報の共有を認めれば、個人情報を共有することを認めていますので、その実現に向けて市町村職員と汗をかいてまいりたい、と答弁しました。

12月10日福岡市が、個人情報保護審査会の答申を受け、障害者などのいわゆる災害弱者の個人情報について、本人の同意がなくても地元の自治組織の代表には提供して、災害時の避難に役立てることになりました。(政令市では全国初です。)



12月21日福岡県、福岡市、糸島市と九電の安全協定締結の協議で、九電が立地県並みに情報提供をすることが決まりました。

東日本大震災 被災者支援バザー

昨年は、私の自宅で開催された東日本大震災被災者支援バザー実行委員会(橋山尚江実行委員長)と、東日本大震災被災者支援バザーを行いました。

5月3日第1回收益金は..... **10万4千59円**
11月19日第2回收益金は..... **3万6千616円**
合計..... **14万675円**

全額を日本赤十字社の東日本大震災義援金に寄託しました。皆様のご協力を心から感謝致します。



←5月のバザーの様子



⇒ 11月のバザーの様子



新開昌彦のホームページ
<http://www.shinkaimasahiko.com>

昭和32年6月生 西新小、百道中、大濠高校23回、創価大学7期卒業
津田産業(株)入社、神崎武法衆院議員秘書、平成11年から県議4期当選